

新型コロナウイルス感染拡大予防に関するサブウェイギャラリーM 利用上のお願い

昨今の新型コロナウイルスによる集団感染を防ぐため、当面の間、サブウェイギャラリーM の利用に際し、以下の内容による対策及び対応をお願いいたします。

1. 利用に伴う事前対策 等

- ① 主催者はギャラリー利用前に、原則として「神奈川県感染防止対策取組書」の登録を行ってください。諸事情により登録が難しい場合は、感染疑い者もしくは感染者が発生した際に速やかに対応できる連絡体制等を整えてください。
- ② ギャラリーの利用中は主催スタッフ（管理責任者・複数可）の常駐を必須としてください。
- ③ 主催スタッフおよび来場者への感染対策協力の呼び掛け（体調不良時の来館とりやめ、マスク着用の必須、ハンカチ持参等）や、入場制限などの案内等についての広報（張り紙、事前案内等）を行ってください。

2. 利用中の感染防止対策

- ① 主催スタッフは来場前に自宅等での検温を励行し、37.5℃以上の発熱がある場合には自宅待機（外出自粛）等の対応を行ってください。発熱の他に、下記の症状に該当する場合も同様としてください。※咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ② 主催スタッフのマスク着用、こまめな手指消毒を徹底してください。
- ③ 会場の入口では来場者へ手指消毒及び非接触検温器による検温を実施してください。
- ④ ギャラリー内は最大 40 名までを同時入館の上限としてください。（ただしパーティションを多く使用する場合は、事前に担当者にご連絡（045-664-1795）ください）
- ⑤ 最大入場者数に達するほど混雑した場合は、入場制限等を実施してください。
- ⑥ 搬入出時を含む主催スタッフおよび来場者の距離を確保するよう、常にギャラリー内外（入口の外を含む）が密にならない様に促してください。（最低 1 m（できるだけ 2 m を目安に））。
- ⑦ 来場者同士の対面を避けるため、一方通行で観覧できるようにしてください。
- ⑧ ギャラリーの換気スイッチは利用中、利用後を問わず切らないでください。
- ⑨ ギャラリー備品の消毒液や石鹸は、必要に応じ主催スタッフが補充を行ってください。
- ⑩ ギャラリー内の不特定多数が使用する設備や物品、ドアノブ、傘立て等、手が触れる場所、について定期的な消毒と清掃を実施してください
- ⑪ 直接手で触れることができる展示物は感染リスクが高いため展示しないことを原則としてください。物販を行う場合など止むを得ない場合は、主催スタッフが管理して消毒を徹底してください。
- ⑫ パンフレット、ちらし、アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるようにしてください。また、プレゼントや差し入れは控えるようお願いしてください。
- ⑬ 対面での会話（大声）を回避するよう促してください。
- ⑭ ギャラリー内では熱中症対策のための水分補給を除き、飲食の利用は禁止としてください。
- ⑮ ギャラリー清掃のため、当面の間、毎週日曜日（最終日）は 16 時完全撤収とってください。

3 感染疑い者もしくは感染者発生時の対応.

主催スタッフ、来場者に感染疑い者もしくは感染者が発生した場合は、直ちに横浜高速鉄道および保健所等関係各所に連絡し、聞き取り等への協力および必要な情報提供を行ってください。

（連絡先）

横浜高速鉄道 内線 6312 もしくは 045-664-1795（平日 9：00～17：30）

みなとみらい駅 045-221-2003（土休日のみ）

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター 045-550-5530（毎日 9：00～21：00）